

下街道歴史ひろば（仮称）の整備について

1 基本的な考え方

(1) 下街道の歴史を伝えるひろば

春日井の経済や文化の発展に重要な役割を果たした下街道に関する歴史を後世にしっかりと伝え、市民が郷土史や文化財に対する愛着や誇りを深めることができる施設にする。

(2) 地域の活性化につながるひろば

地域住民が集い交流し、にぎわいが生まれるとともに、市内外から多くの方が訪れ、地域の活性化に寄与する施設にする。

2 整備内容（別紙参照）

ひろばは、地域住民によって大切に受け継がれてきた道標や句碑などの石造物と調和するように、和風庭園（石庭）をイメージしたものとする。

また、歴史的な偉人や文化人の足跡を紹介する「郷土館や明治天皇巡幸に関するエリア」と、春日井市の発展に寄与した街道の歴史的役割を紹介する「下街道や街道に関するエリア」を設け、これらを対角に配置することで、回遊型の動線を生み出す。

(1) 下街道の歴史や明治天皇の巡幸についての説明看板の設置

来訪者に歴史を伝える説明看板を、それぞれのエリアに設置する。また、看板には、さらに詳細な情報を得ることができるように、VR（仮想現実）を活用した情報にリンクするQRコードを掲示する。

(2) 現在の郷土館にある石碑や道標などの展示

「郷土館や明治天皇巡幸に関するエリア」には、鳥居松にゆかりのある横井也有の句碑や明治天皇巡幸に関する標柱などを展示するとともに、「下街道や街道に関するエリア」には、鳥居松町や勝川町に存在した道標などを展示する。

(3) 多目的に利用可能なオープンスペースの整備

地域住民の日常的な活動やイベントの開催などの多目的な利用を想定し、ひろば中心部には、人々が集い、交流することができる広いスペースを設ける。

(4) 駐車場や休憩用ベンチ、トイレの整備

駐車場（2台分）、駐輪場、休憩用ベンチを備えた東屋、トイレを整備する。駐車場の1台は思いやり駐車場とし、トイレは多目的利用もできるものにする。

3 整備スケジュール（予定）

令 和	整 備 内 容
7年度	実施設計
8年度	郷土館の解体、ひろばの整備、竣工